

「バリアフリー食“凍結含浸”」ワークショップ活動報告 Ⅲ

H24.11.21 ワークショップ事務局

1 プラチナ世代チャレンジフェア（プラチナ健康福祉祭）2012

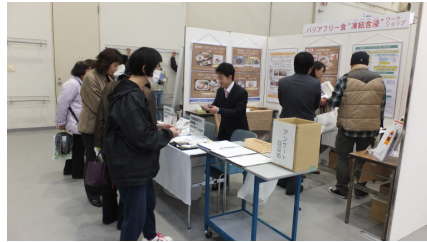
日時：平成24年11月18日（日） 場所：広島県立産業会館西館

- このイベントは、プラチナ世代（概ね55才以上）、幅広い世代の方々に、地域デビューに向けてのきっかけやヒントを得ていただけるよう、参加・交流・体験型のイベントとして実施されたものです。イベント来場者数は、約1,000名とのことです。
- 広島発の「凍結含浸」について、特に県内の幅広い世代の方々に対して認知度を高める上で効果的なPR機会のひとつであると考え、当ワークショップとして出展しました。

2 展示PRの様子



ワークショップの紹介とともに実際の商品サンプルやカタログを展示紹介



ゴボウ体験サンプル
(上:生ののみ, 下:凍結含浸処理)

- 当ワークショップの展示ブースには、約80名の方が立ち寄られました。
- また、ブース来場者には、食品工業技術センターが準備したゴボウのサンプルを実際に指でつぶしてもらうことで、凍結含浸法でどんなやわらかさになるのか体験していただきました。

3 ブース来場者認知度アンケート結果（概要）

① 回答者 26名

【内訳】年齢層別 ~29才 0名, 30~49才 5名, 50~59才 3名, 60~69才 13名, 70才~ 5名
所在地別 県内 26名, 県外 0名

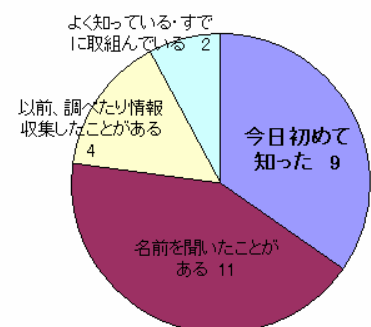
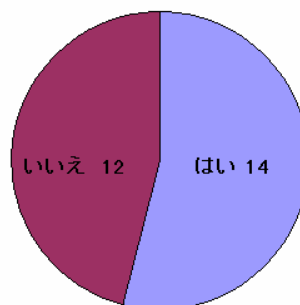
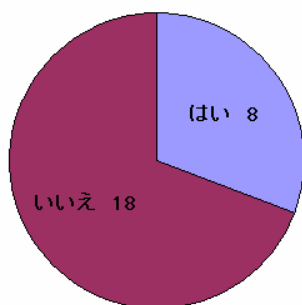
② 回答者の介護との関わり背景

Q 介護関係の仕事をされていますか？
(されたことがありますか？)

Q ご家族等の介護等をされていますか？
(されたことがありますか？)

③凍結含浸についての認知状況

Q 凍結含浸(技術や調理、食品・食事など)について
ご存知でしたか？



4 総括

このイベントでは、広島県内のプラチナ世代の方々による様々なサークル活動などの展示発表も行われており、イベント来場者も活力溢れるプラチナ世代の方が殆どでした。このため、ブース来場者は、ご自身がまだまだ活躍されており、親等の介護を終えた方も多くありました。

各社の商品については、「将来使いたい」「親戚や知り合いに紹介したい」と概ね関心を持っていただけましたが、在宅での利用のしやすさ（購入場所、低価格化）を求める声もありました。

なお、今回の出展PRでは、ブース来場者の中に、凍結含浸について「テレビで見たことがあります」「最近、新聞で見たよ」という方が相当ありました。ブース来場者へのアンケートでも、3人に2人が「凍結含浸の名前は聞いたことがある」くらいには認知されているという結果でした。

このイベントの前々日、地元紙（11月16日の中国新聞朝刊）に、凍結含浸介護食に関する記事が掲載されたこととあわせて、ブース来場者の印象に残るPRとなったものと考えています。